

第69回 卒業証書授与式挙行

【校長式辞・抄】 卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さんと私は、3年前の4月に、一緒に第一中学校に入学しました。入学してすぐの頃、朝自習の様子を見に行くと、教室に入った私に元気に「おはようございます」のあいさつをして

くれました。床に落ちたプリントや消しゴムなどを拾ってあげると、すぐに「ありがとうございます」が返ってきました。授業の様子やグラウンド開きの様子を見ながら、学年主任の木村先生と、「1年生は明るく素直ですね。何よりパワーがあります。このことを長所として伸ばしていきましょう」と話し合ったのでした。

先生方の指導のもと、皆さんは着実に力を付けてきたのですが、そのパワーが最初に爆発したのは2年生の中体連秋季大会ではなかったでしょうか。バドミントンと女子バスケットボールが優勝、陸上競技男子と剣道男子、そしてバレーボールが準優勝を果たし、ソフトボールが3位に入賞するなど、一中の名前を大いに高めました。

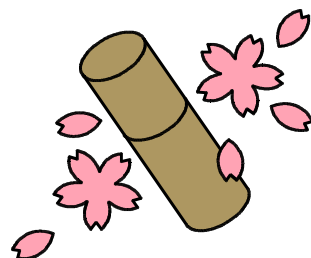
このように目に見える活躍ばかりではなく、人間的にも大きく成長していることを感じさせたのが立志式でした。約1年前、昨年2月でしたが、立志式の会場である体育館に入った私は、電気に打たれたかのような衝撃を受けました。ステージ側に整列して着席している皆さんが、それまで見たことのない、凜として立派な姿だったからです。「継続」をテーマに高らかに立志宣言をする姿から、この子供たちは、今日、本物になったと感じました。

その後、3年生になってからの活躍は今更言うまでもありません。生徒会の活動テーマである「本気 ～日々の努力～」のもと、まさに一中の顔として体育祭、合唱コンクール、文化祭などで全校を引っ張ってくれました。また、各種大会やさまざまなコンクールにおいて、たくさんの優秀な成績を収めました。

このようにすばらしい成長を遂げた3年生を象徴するような出来事がありました。先日の新聞で御覧になった方も多いかと思いますが、3年生の女子5名が、青森県教育委員会から善い行いをした生徒として表彰を受けました。このうち2人は体調を崩して道路で動けなくなっていたおばあさんを助け、ほかの3人は自分たちの住んでいる町内のゴミ拾いを続けたのです。

電車やバスでお年寄りや体の不自由な方に席を譲るとか、落ちているゴミを拾うということは誰でも知っています。しかし、それを実行するとなるとできない場合が多くなります。恥ずかしいとか、格好つけていると思われるのではないかという、余計なことに惑わされず、困っている人を助けたり、地域のために役立つことをするというのは、勇気のいることです。このような行いを、自分で考え、判断し、実行できたということがすばらしいのです。

卒業生の皆さん、いよいよ巣立ちのときがやってきました。それぞれ進む道は分かれています。第一中学校で学んだ思いやりと勇気、そして実行力をもとに、自分の夢の実現に向けて、自信をもって突き進んでください。皆さんの今後の健闘を祈り、式辞といたします。



在校生代表送辞(抄) 2年生 楠木朝陽

「行動で示すリーダー」 3年生の皆さんの学校生活を思ったとき、私の頭の中にはとっさにこの言葉が浮かんできました。皆さんはいつでもどこでも、本気で活動することの大切さを、私たち後輩に示してくださいました。そして、私たちも、その本気の姿に引っ張られ、気がつく行事を成功させた達成感でいっぱいになっていました。

私の心に一番強く残っているのは、市中体前日のあの日です。選手と応援団が全員で円陣を組んで、大空に向かって叫んだ頑張り校歌は、今でも私の耳にはっきり聞こえています。あの時、人は一つになれるということを私は実感しました。そして、それを「言葉ではなく行動」で示してくださいしたのは、ほかでもない175名の卒業生のみなさん一人一人なのです。今まで、私たちの目標だった皆さんの姿に会えなくなるのは不安ですが、その時は、体育祭での、公会堂での、文化祭での、そして、あの日のグラウンドでの全校で声を枯らして歌った頑張り校歌を思い出し、自分を鼓舞します。3年生の皆さんのように何事にも「本気」で取り組んでいきます。

卒業生のみなさん、これからもいつでも「本気」な背中を見せて自分の道を歩いてください。「なすべき一つ一つに全力を尽くした」卒業生の皆様の背中を、私たちはこれからもずっと追い続けながら、この第一中学校を作り上げていきます。

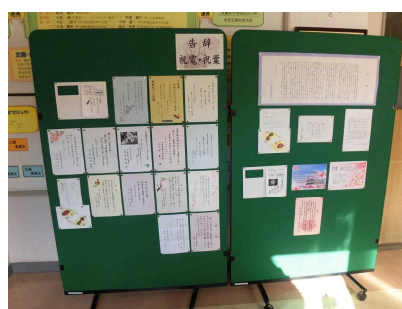
卒業生代表答辞(抄) 3年生 南館拓実

3年間を振り返ってみると、一番印象に残っているのは、やはり体育祭の応援合戦です。限られた条件のなかで最高のパフォーマンスを創ることは大変でした。しかし、そんななかで支え励ましてくれたのはクラスメイトでした。その支えがあったからこそ、力強く前に進むことができました。当日、すべての軍が総力を挙げて魅せるパフォーマンスは全員が笑顔となり、とても輝いていました。最後までやり遂げた達成感を、全員で協力できた喜びを、最後の体育祭を終えたときの感動を、僕たちは決して忘れません。

僕たちがこうしてかけがえのない日々を送ることができたのは、様々な人たちの励ましがあったからです。生徒一人一人と向き合い、優しく、時には厳しく叱って大切なことを教えてくださった先生方。僕たちを信じてついてきてくれ、先輩としての自信をもたせてくれた後輩。普段の生活や行事などで大きな支えとなってくださった地域の皆様。いつでも僕たちを励まし、様々なことに挑戦させてくれた両親。皆さんのおかげでとても充実した毎日を過ごすことができました。今まで本当にありがとうございました。

そして、どんなに難しいことがあっても成し遂げることができたのは、ほかでもない、仲間たちの支えがあつてこそ。こんな最高の仲間たちとこの一中で過ごせたことは、本当に大切な思い出です。

いざ、さらば仲間たち。また出会う日を信じて。そのときまでサヨウナラ。輝く明日を夢見て。いざ進まん。我ら一中生。



卒業記念品

左＝四季の並木道看板支柱
右＝展示用パネル6台

大切に使用させていただきます。
ありがとうございました。